

令和3年4月6日現在

※ カリキュラムは変更と
なる場合があります。

SEADS

研修計画

2021

目次

(1年生)

A	オリエンテーション	・・・	1 ページ
B	農業経営	・・・	2 ページ
C	農業の基礎知識	・・・	5 ページ
D	農業機械講習	・・・	10 ページ
E	一般公開講座	・・・	11 ページ
F	農業関係法令・認証	・・・	13 ページ
G	視察研修	・・・	15 ページ
H	就農・定住支援	・・・	15 ページ
O	外部講義	・・・	17 ページ
L	実習	・・・	18 ページ

(2年生)

A	オリエンテーション	・・・	21 ページ
B	農業経営	・・・	22 ページ
C	農業技術	・・・	24 ページ
D	農業機械講習	・・・	27 ページ
G	視察研修	・・・	27 ページ
H	就農・定住支援	・・・	28 ページ
O	外部講義	・・・	30 ページ
L	実習	・・・	31 ページ

大項目	オリエンテーション	区分	必修	学年	共通	総時間数 (目安)	3
到達目標	SEADS研修生としての自覚を持つ。また、SEADS研修生として「学んでいく」「地域に入っていく」素地を身に付ける。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	入校式・ガイダンス	—	①入校式 ②ガイダンス ・関係者紹介 ・研修について ・生活について ・研修生としてのマインドセット	—	—	○	
教材	—						
備考	—						

大項目	オリエンテーション	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	3
到達目標	庄内地域（鶴岡市）への理解を深める。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	庄内学	—	第1回 鶴岡市の食文化について 講師：鶴岡市食文化創造都市推進課 第2回 鶴岡市の観光について 講師：鶴岡市観光物産課	○	—	—	
教材	講義毎に配布資料あり（予定）						
備考	—						

大項目	オリエンテーション	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	12
到達目標	「農業の人材育成・確保に関する協定」締結8者の代表による講話を通して、学校の意義・役割、自分たちがどんな期待を受けているか把握する。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	協定8者の講話	—	<協定8者> ①鶴岡市長 ②JA鶴岡代表理事組合長 ③JA庄内たがわ代表理事組合長 ④山形大学農学部長 ⑤東北芸術工科大学学長 ⑥鶴岡工業高等専門学校校長 ⑦庄内農業高校校長 ⑧ヤマカタデザイン株式会社代表取締役社長	○	—	—	
教材	講義毎に配布資料あり(予定)						
備考	—						

大項目	農業経営	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	18
到達目標	経営者に必要な基礎スキルである、ロジカルシンキングと数字で考える力を身に付け、その後の研修等で自分の考えを整理することができる。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	経営技術	経営スキル	第1回 ロジカルシンキング研修1 第2回 ロジカルシンキング研修2 第3回 数字で考える力① 第4回 数字で考える力② ※2年生と合同	○	—	—	
教材	講義毎に配布資料あり(予定)						
備考	食農夢創 代表 仲野真人 / WITH FARMER 代表 平戸裕馬						新規

大項目	農業経営	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	9
到達目標	生産者と消費者をつなぐ流通業界等の視点を知り、市場優位な農作物や、今後の消費の動向などについての動向がわかる。講義で繋がりをつくり、就農後も継続して情報収集ができるようになる。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	経営技術	農産物の販売戦略	<詳細調整中> ・ネットスーパー ・仲卸 ・産直EC ・種苗会社 ・飲食店 ・市場	○	—	—	
教材	—						
備考	—						

大項目	農業経営	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	9
到達目標	経営者としての心構えを身につける。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	経営技術	講話Ⅰ	百瀬校長・YD代表山中から経営や地域課題等についてのテーマを出し、そのテーマをもとに自身が課題に思っているテーマ等について、ディスカッションを行う。 ※2年生と合同	○	—	—	
教材	講義毎に配布資料あり(予定)						
備考	—						

新規

大項目	農業経営	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	9
到達目標	経営者としての心構えを身につける。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	経営技術	講話Ⅱ	地域の経営者/起業家(農業に限らない)から講演をいただき、経営者として、何を目指し、どのような事業をおこなっているのかを聞き、自身の農業経営について考える。 ※2年生と合同	○	—	—	
教材	講義毎に配布資料あり(予定)						
備考	—						

大項目	農業経営	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	18
到達目標	稼げる農業の実現に必要な能力を養うため、事業計画の作り方、農業経営に必要な考え方を学び、独立就農時の農地・資金・販路・人手の確保について理解する。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	経営技術	営農計画書	1 経営の基礎 (1) 農業で“稼ぐ”とは? (2) 売上とコストの考え方 ~経営シミュレーション: 施設園芸~ (3) 事例分析 ~経営シミュレーション: 稲作経営~	○	—	—	
教材	講義毎に配布資料あり(予定)						
備考	WITH FARMER 代表 平戸裕馬 強化						

大項目	農業の基礎知識	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	9
到達目標	有機農業及びその栽培技術の概要について学び、有機農業の必要条件や難しさについて考える						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	有機農業の理論(基礎)	総論	1 有機農業の概要 2 有機栽培技術の概要 3 有機質肥料と土壌改良資材 4 有機物施用による土づくり 5 有機農業における病害虫の防除 6 作物別の栽培方法	○	—	—	
教材	講義毎に配布資料あり(予定)						
備考	講師： 東京大学農学部国際植物資源科学研究所 藤原風輝						

大項目	農業の基礎知識	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	3
到達目標	1.植物分類からみた栽培植物の位置づけ、育種手法と品種改良の効果を理解する。 2.植物の形態の多様性、とその農業に必要な用語を理解する 3.植物の環境と生理現象を理解する						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	有機農業の理論(基礎)	植物生理Ⅰ	1 植物の分類法と栽培植物の位置づけ <ul style="list-style-type: none"> 形態的特徴による分類 DND解析による分類法 主な作物の植物としての位置づけ 2 育種の方法と改良の効果 <ul style="list-style-type: none"> 選抜法、突然変異法、交雑法、DNA育種法などの育種法 育種の効果 種と品種の関係 3 植物の形態の多様性と用語 <ul style="list-style-type: none"> 葉、根、花の形態とその呼び名 作物のタネの観察 4 植物の栄養・生殖生理 <ul style="list-style-type: none"> 光合成の仕組み、温度、光強度、日長と植物の反応 結実生理 休眠生理 	○	—	○	
教材	テキスト、パワーポイント資料						
備考	講師： 農業技術アドバイザー 栗田公司						

大項目	農業の基礎知識	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	6
到達目標	1. 土壌の種類と特性、土壌の診断方法、土壌に関する用語を理解する 2. 肥料の種類とその特性を理解する 3. 施肥設計の立て方を習得する 4. 土壌管理技術を理解する 5. 有機質肥料とその使い方を習得する						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
有機農業の理論(基礎)	土壌肥料Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> 1 土壌の種類と農業上の特性 <ul style="list-style-type: none"> ・ 土壌生成過程と地質年代 ・ 土性とは何か、その診断方法 ・ 庄内地域における耕地土壌の種類と利用状況 2 土壌の診断方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 土壌断面構造 ・ 土壌化学性と簡易診断法 ・ 土壌物理性の3要素 ・ 土壌の生物性 3 肥料とはなにか <ul style="list-style-type: none"> ・ 作物成長と必要成分 ・ 肥料の種類と使用方法 4 施肥設計 <ul style="list-style-type: none"> ・ 作物別肥料吸収量の違い ・ 使用肥料の選定と使用量の算出 ・ 施肥設計の立て方 	○	○	—		
教材	テキスト、パワーポイント資料、PH、EC測定器、ガラスビーカー、ガラス棒、葉さじ、蒸留水						
備考	実験は庄内産地研究室の実験室を借用する / 講師： 栗田公司 —						

大項目	農業の基礎知識	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	3
到達目標	1. 持続的な土壌管理技術を理解する 2. 有機質肥料とその使い方を習得する						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
有機農業の理論(基礎)	土壌肥料Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> 1 土壌管理技術 <ul style="list-style-type: none"> ・ 連作による土壌変化と障害の発生 ・ 輪作の基本理論と実際 2 施設土壌の特性と管理技術 <ul style="list-style-type: none"> ・ 土壌の塩類蓄積の仕組み ・ 塩類濃度対策技術 3 有機質を利用した施肥法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 緑肥の種類とその効果 ・ 堆肥の種類と使い方 ・ 有機質肥料の種類と使い方 	○	—	—		
教材	講義毎に配布資料あり(予定)						
備考	講師： 新潟食料農業大学教授 伊藤豊彰 新規						

大項目	農業の基礎知識	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	6
到達目標	1.農業とはなにか、農業使用に関わる農家が順守すべき事項を理解する 2.病害虫発生仕組みを理解し、農業に頼らない防除法の基本を習得する 3.安全安心な農業の使用法を習得する						
指導内容	有機農業の理論(基礎)	作物保護Ⅰ	1 農業とはなにか ・ 農業に関する法律と登録の仕組み ・ 農業の種類 ・ ポテンシャルリスト制度 ・ 有機栽培で使用できる農業 2 病害虫発生仕組み ・ 病害虫発生3要因 ・ 耕種防除法 ・ その① 主因の対策 ・ その② 素因の対策 ・ その③ 誘因の対策 3 害虫の発生と防除法 ・ 被害の多い鱗翅目害虫 ・ アブラムシとハダニ類 ・ 土壌センチュウの被害と対策 4 病害の種類と防除法 ・ カビ病 ・ 細菌病 ・ ウィルス病 5 薬剤の使用法 ・ 薬剤の選定 ・ 薬剤の混用処理 ・ 薬液の作成法	形態			
				講義	実習	その他	
教材	テキスト、パワーポイント資料						
備考	講師： 農業技術アドバイザー 栗田公司 —						

大項目	農業の基礎知識	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	3
到達目標	施設園芸の種類と特徴について知識を得るとともに、暖房、冷房等の環境制御の基本技術を学ぶ						
指導内容	有機農業の理論(基礎)	施設園芸	1 施設園芸の種類と特徴 ・ 園芸用施設の種類と特徴 ・ 園芸用施設の強靱化対策 ・ 換気と保温 2 環境制御の基本技術 ・ 暖房、冷房、循環扇 ・ 二酸化炭素施用 ・ 制御と見える化	形態			
				講義	実習	その他	
教材	講義毎に配布資料あり(予定)						
備考	講師： 県庁農林水産部農政企画課 —						

大項目	農業の基礎知識	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	15
到達目標	イネの一生を知り、慣行栽培における生育過程に応じた管理作業を理解する						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
	栽培基礎	稲作	1 イネの一生（主な性質、栽培のながれ、栽培計画） 2 育苗（選種、種籾の処理、良い苗の条件） 3 本田準備と植付（水田の機能、本田準備、植付） 4 本田管理（水の管理、追肥、病害虫・除草） 5 幼穂分化・出穂（幼穂分化、穂肥、水管理） 6 収穫と調製（米粒の成熟過程、収穫の適期、調製） 7 庄内の水田土壌（水田土壌の特性、土壌改良事業の歴史） 8 イネの品種（品種改良、品種の特性）	講義	実習	その他	
教材	作物学の基礎Ⅰ 食用作物						
備考	講師： 庄内農業高校非常勤講師 佐藤一広						

大項目	農業の基礎知識	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	6
到達目標	1.野菜色々な区分方法を理解し、野菜栽培の基礎知識とする 2.気象条件の違いによる野菜産地の成立条件を理解する 3.野菜の作型の種類を理解する 4.露地野菜の基本的作業技術を習得する						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
	栽培基礎	野菜Ⅰ	1 野菜の種類と分類 <ul style="list-style-type: none"> 植物分類による区分 利用部位による区分 生産・流通による区分 2 気象条件と野菜の栽培 <ul style="list-style-type: none"> 温度環境 光環境（光強度、日長） 水環境と風の強度 山形県の気象特性と野菜産地の成立 3 野菜の作型 <ul style="list-style-type: none"> 作型の定義 露地、ハウス、トンネル栽培の特性と活かし方 4 野菜栽培の作業技術 <ul style="list-style-type: none"> うね立て法 マルチ被覆技術 トンネル設置法 	講義	実習	その他	
教材	教科書「野菜栽培の基礎」、テキスト、パワーポイント資料、各種農機具、農業資材						
備考	講師： 農業技術アドバイザー 栗田公司						

大項目	農業の基礎知識	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	6
到達目標	1.野菜の育苗の目的と苗の種類を理解し経営への導入可能性を探る 2.野菜の育苗の作業を実習し技術を習得する						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
	栽培基礎	野菜Ⅱ		講義	実習	その他	
			1 野菜の育苗 <ul style="list-style-type: none"> ・ 育苗の目的 ・ 苗の種類 ・ 培養土の種類と使い方 ・ 果菜類の接ぎ木育苗 2 育苗の実際 <ul style="list-style-type: none"> ・ 野菜の播種方法 ・ 移植方法 ・ 温度管理の基本 ・ 省力化技術 3 野菜の栽培計画の立て方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 作型の選定 ・ 品種の選び方 ・ 施肥設計 ・ 病害虫防除計画 ・ 作業工程表 	○	○	—	
教材	教科書「野菜栽培の基礎」、テキスト、パワーポイント資料						
備考	講師： 農業技術アドバイザー 栗田公司 —						

大項目	農業の基礎知識	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	6
到達目標	1.野菜の主要品目について庄内地域における栽培方法を理解する 2.研修生の希望品目について栽培技術を理解し導入の可能性を探る						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
	栽培基礎	野菜Ⅲ		講義	実習	その他	
			1 ウリ科野菜の基本技術 <ul style="list-style-type: none"> ・ 庄内のメロン導入経過と栽培技術 ・ キュウリの半促成栽培法 2 ナス科野菜の基本技術 <ul style="list-style-type: none"> ・ トマトの生育特性と栽培 ・ ナスの生育特性と栽培 3 イモ類の基本技術 <ul style="list-style-type: none"> ・ サトイモの栽培技術 ・ サツマイモの栽培技術 4 研修生導入希望野菜の栽培技術 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本特性と栽培法 ・ 経営と導入計画 	○	○	—	
教材	教科書「野菜栽培の基礎」、テキスト、パワーポイント資料						
備考	メロン栽培は校内他の栽培地で実習を行う /講師： 農業技術アドバイザー 栗田公司 —						

大項目	農業の基礎知識	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	6
到達目標	山形県の主要果樹について、品種の動向、販売価格、部位の名称等を学ぶとともに、樹種ごとにその栽培法のポイントについての知識を得る						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	栽培基礎	果樹	1 山形県の果樹栽培について <ul style="list-style-type: none"> ・ぶどうの栽培 ・さくらんぼの栽培 ・かきの栽培 ・日本なしの栽培 ・ももの栽培 ・りんごの栽培 ・西洋なしの栽培 	○	—	—	
教材	果樹栽培の基礎						
備考	講師：JA庄内たがわ園芸特産課指導員 佐藤康一						

大項目	農業機械講習	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	9
到達目標	主要機械の基本的な操作方法の取得（レベル：「できる」）						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	基本操作 作業技術 メンテナンス	主要機械	鶴岡市有機農業推進協会・JA・SEADS近隣農家から協力を頂き、農業機械の基本操作、作業技術、メンテナンスについて基本事項を学習。	—	○	—	
教材	—						
備考	講師：鶴岡市有機農業推進協会 / JA / SEADS近隣農家						

大項目	一般公開講座	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	7.5
到達目標	水稲の安定供給と農業経営の安定化を目指し、スマート農業と農業技術、基礎となる土づくりの重要性を学び自ほ場の土の状態を知る。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
指導内容	スマート農業	スマート農業×土づくり講座～水稲のみらいを繋ぐ～	第1回 「スマート農業とは～ICT農業と農業の原点～」 第2回 「気象を読み解く」 第3回 「稲作と農業機械の現状」 第4回 「土づくりの科学」 第5回 「今年度の総括と次年度に向けた対策」	○	—	—	
教材	講義毎に資料を配布。その他、土壌分析希望者を対象に土壌分析キット（有料）を配布予定。						
備考	鶴岡市農政課主催（業務受託者：株式会社ファーム・フロンティア）						—

大項目	一般公開講座	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	15
到達目標	スマート農業の概要を知り、既存製品を適切に利用できるリテラシーを身につける。 マイクロコンピュータやセンサーを使用し、自分で安価に取り組めるスマート農業があることを知る						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
指導内容	アグリラボ	—	<詳細検討中> ・スマート農業とは ・既存のIoT機器の農業利用 ・センサーの特性と環境測定 ・マイクロコンピュータでできること ・実際に簡単なセンサーを作って利用 ・得られたデータを集計し分析	○	○	—	
教材	講義毎に配布資料あり（予定） ・マイクロコンピュータ ・センサー ・IoT機器等						
備考	調整中						—

大項目	一般公開講座	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	9
到達目標	農業者などの個々の取組みを学ぶ「個人対策コース」と、地域での取組みを進める「地域対策コース」を設け、地域での鳥獣被害対策の意識を高める。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
鳥獣害対策	—	—	「個人対策コース」 第1回 無理なく野生動物と付き合う視点と技術 第2回 イノシシの生態と被害対策 第3回 ハクビシンの生態と被害対策 第4回 電気柵の仕組みと設置 「地域団結コース」 第5回 【NEW】地域でサルを追い払う 第6回 【NEW】庭の柿の木にクマがやってくる 第7回 集落環境整備（仮） 第8回 【NEW】合意形成を経て自分たちの地域をどうしたいかを考える （予備：【NEW】鳥獣対策をポジティブに考えてみる）	○	○	—	
教材	講義毎に配布資料あり（予定）						
備考	鶴岡市農政課主催（講師調整中）						—

大項目	一般公開講座	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	7.5
到達目標	有機農業取組面積を広げ、作目を拡大していくためには、経験による営農から科学的な知見に基づく営農の普及が重要である。市内の有機農業取組者の技術向上と新規取組者の掘り起こしとともに、有機農業者同士の交流、ネットワークづくりを目指す。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
有機農業	—	—	第1回 「有機水稻」の栽培技術について 第2回 「有機枝豆」の栽培技術について 第3回 「有機野菜」の栽培技術について（視察） 第4回 「有機の土壌肥料、害虫対策」について 第5回 「有機の土づくり」について（修了後、交流会を実施予定）	○	—	—	
教材	講義毎に配布資料あり（予定）						
備考	鶴岡市農政課主催（講師調整中）						新規

大項目	農業関係法令・認証	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	3
到達目標	食品加工に関する基礎的な知識について学ぶとともに、6次産業化に取組む共同利用加工施設を見学し、食品を商品化するまでの流れを理解する。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
法令・認証	食品加工関連法令		<ol style="list-style-type: none"> 食品を加工販売するために必要なこと <ul style="list-style-type: none"> 食品加工起業の流れ（営業許可の取得） 食品加工に関連する法律（食品衛生法、食品表示法、製造物責任法、JAS法、景品表示法等について） 施設見学（共同利用加工施設：クラッセ） <ul style="list-style-type: none"> 加工機械の説明、会員登録や利用方法、商品化事例紹介など 	○	○	—	
教材	講義毎に配布資料あり（予定）						
備考	講師： 庄内総合支庁農業技術普及課						新規

大項目	農業関係法令・認証	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	3
到達目標	農産物検査法、米の農産物規格の概要について学び、農産物検査を要件としている施策との関連を理解する。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
法令・認証	農産物検査法		<ol style="list-style-type: none"> 農産物検査法の概要 米の農産物規格（検査項目） 農産物検査を要件としている施策 農産物規格・検査に関する見直し 近年の山形県の検査状況（水稲うるち玄米） 	○	○	—	
教材	講義毎に配布資料あり（予定）						
備考	講師： 県庁農林水産部兼産米ブランド推進課						—

大項目	農業関係法令・認証	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	3
到達目標	GAP、HACCP概要と取組のポイントについて学ぶとともに、その実践事例を通して、就農後に「GAPをする」機運を醸成する。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	法令・認証	GAP・HACCP	<ol style="list-style-type: none"> 1 GAPとは何か <ul style="list-style-type: none"> ・GAPを巡る情勢 ・様々なGAP、山形県GAP 2 具体的な取組みについて <ul style="list-style-type: none"> ・食品安全、環境保全、労働安全 ・人権保護、農場経営管理 3 HACCPとは何か 4 具体的な取組みについて 	○	○	—	
教材	講義毎に資料を配布予定（パワーポイント等）						
備考	講師：庄内総合支庁農業技術普及課、県庁農業技術環境課						

大項目	農業関係法令・認証	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	3
到達目標	環境保全型農業に係る施策の変遷、有機農業の推進に関する法律について学ぶとともに、有機農業の現状と推進施策、山形県における取組経過及び有機農産物関係法令について理解する。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	法令・認証	特裁・有機認証	<ol style="list-style-type: none"> 1 有機農業をはじめとした環境保全型農業の変遷 2 有機農業を巡る事業 3 有機農業の推進施策 4 有機農産物関係法令の解説 	○	○	—	
教材	講義毎に配布資料あり（予定）						
備考	講師：県庁農林水産部農業技術環境課						

大項目	視察研修	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	45
到達目標	県内の先進事例地や品目別の栽培方法、研究機関等の視察により、目指す就農ビジョンの具体化に繋げる。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
農業経営体 野菜 果樹 水稲 食品加工	—	—	4月 温湯消毒 6月 庄内産地研究室・園芸農家 7月 選果場（枝豆・メロン）、温海地域、 月山高原 8月 稲作農家 9月 水田農業研究所 10月 園芸農業研究所 ※2年生と合同	—	○	—	
教材	—						
備考	—						強化

大項目	就農・定住支援	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	3
到達目標	認定農業者制度、農業法人制度や就農支援制度について学び、就農計画を作成する						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
農地・営農資金・各種 補助制度	—	—	1 認定農業者制度、農業法人制度の概要 2 農地制度、農業委員会制度、農地法・農 業経営基盤強化促進法の概要	○	—	○	
教材	講義毎に配布資料あり（予定）						
備考	講師： 鶴岡市農業委員会						—

大項目	就農・定住支援	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	18
到達目標	就農計画の作成に向けて、タイムリーに情報交換を行い逐次に計画のブラッシュアップを図る						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	就農相談	—	[1年生] [2年生] 共通 1 個別面談	○	—	○	
教材	—						
備考	担当： SEADS事務局						強化

大項目	就農・定住支援	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	15
到達目標	地域農業の担い手・リーダー・農業士・JA生産組織等との交流を通じて、地域社会生活に必要な知識、情報等を習得するとともに、農業経営者としての資質向上を図る						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	農業者交流	—	[1年生] [2年生] 共通 1 先進農業経営事例研究 2 地域農業経営事例研究	○	—	○	
教材	講義毎に配布資料あり(予定)						
備考	—						強化

大項目	就農・定住支援	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	9
到達目標	うつ病の理解や、ストレスとの付き合い方などを学び、元気なころ・からだで過ごすためにできることを考える。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	ころとからだの健康相談	—	[1年生] [2年生] 共通 1 うつ病の理解ところのサポーターの役割について 2 「ころとからだの健康相談」(個別)	○	—	○	
教材	講義毎に配布資料あり(予定)						
備考	講師：鶴岡市健康課						強化

大項目	食と農のビジネス塾	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	162
到達目標	優れた経営感覚と販売ノウハウを身に付ける。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	①基礎 ②経営 ③加工 ④販売 ⑤農業技術 ⑥ビジネス計画書作成	—	別紙のとおり	○	○	○	
教材	別紙のとおり						
備考	地域定住農業者育成コンソーシアム主催(事務局：山形大学農学部内)						—

大項目	農業経営実践講座	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	18
到達目標	新規就農者の農業経営の実践力を身につけるため、複式簿記について理解し、会計ソフトを活用した決算書作成や経営分析ができるようになる。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	複式簿記Ⅰ	—	1 貸借対照表と損益計算書 2 仕訳 3 仕訳と転記 4 決算整理仕訳 5 会計ソフトの操作①（ソリマチ農業簿記） 6 会計ソフトの操作②（ソリマチ農業簿記）	○	—	—	
教材	農業簿記検定教科書3級						
備考	庄内総合支庁農業技術普及課主催						

大項目	実習	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	21
到達目標	「果樹に触れる」ことをテーマとした体験的な研修を通して、庄内地域での果樹栽培を理解する。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	庄内農業高校	果樹研修	【時期及び内容】 5月 ブドウハウスの展開 6月 オウトウ収穫・リンゴ（カキ）摘果 7月 ブドウ房作り・リンゴ・カキ摘果 9月 ブドウ・リンゴ収穫 10月 リンゴ収穫 12月 剪定 ※概ね月1回程度。 ※ほか、視察研修（水稲）を2回予定。	—	○	—	
教材	—						
備考	庄内農業高校の果樹園での研修						

大項目	実習	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	—
到達目標	実践農家において農作業を通じて水稲有機栽培の基本技術を習得する。 1 栽培技術、2 作業技術、3 経営の基本と有機栽培の取組み。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
農家実習	水稲有機栽培		1 育苗技術 播種、灌水、追肥、温度管理などの作業を実践する。 2 移植技術 耕起、施肥、代掻き、移植等の一連の作業を実践する。 3 本田管理作業 初期生育の確保、除草、作溝・中干し、穂肥、生育指標、病害虫対策を体験する 4 稲作経営の基本と有機栽培の取組み 作業の効率化、圃場選定や品種の選択、土づくりや有機質肥料、除草技術について学ぶ。	—	○	—	
教材	水稲有機栽培の手引き						
備考	研修期間中に稲作担当講師が1～2回程度巡回指導をする。						新規

大項目	実習	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	—
到達目標	実践農家において農作業を通じて野菜栽培（ミニトマト）の基本技術を習得する 1 栽培技術、2 作業技術、3 生育診断技術 4 経営技術						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
農家実習	ミニトマト栽培		1 定植準備作業 施肥、耕起、マルチ設置、誘引用支柱設置等の一連の作業技術 2 定植作業 畝の観察と生育診断、接ぎ木苗の効果、定植方法 3 栽培管理 整枝、誘引、摘葉、摘果など、生育の診断と追肥法、病害虫の診断と防除、着果促進のための技術 4 収穫作業 収穫法、選別調整作業、出荷規格の分け分け法 5 ミニトマト経営の基本 ハウスの利用体系、高品質栽培法、鮮度保持法、収穫、出荷作業の効率化	—	○	—	
教材	JA作成の栽培暦や技術情報						
備考	研修期間中に野菜栽培担当講師が1～2回程度巡回指導をする。						新規

大項目	実習	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	—
到達目標	実践農家において農作業を通じて野菜栽培（メロン）の基本技術を習得する 1 栽培技術、 2 作業技術、 3 経営の基本と特別栽培の取り組み						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
農家実習	メロン栽培	1 育苗技術 播種、移植、鉢ずらし、馴らしなどの作業を実践する 2 定植準備作業と定植 施肥、耕起、マルチ設置、トンネル被覆等の一連の作業技術と定植 3 栽培管理作業 ハウス、トンネルの温度管理、整枝作業、かん水、生育の診断、病害虫の診断と防除 4 収穫作業 収穫適期判断、収穫、調整、箱づめ等の作業を体験する 5 メロン経営の基本と特別栽培の取り組み 圃場の利用体系、作業の効率化、化学肥料削減法や病害虫の診断と防除	—	○	—		
教材	JA作成の栽培暦や技術情報						
備考	研修期間中に野菜栽培担当講師が1～2回程度巡回指導をする。						新規

大項目	実習	区分	必修	学年	1年生	総時間数 (目安)	—
到達目標	実践農家において農作業を通じて野菜栽培（エダマメ）の基本技術を習得する 1 栽培技術、 2 作業技術、 3 生育診断技術 4 経営技術						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
農家実習	えだまめ栽培	1 定植準備作業 施肥、耕起、うね立て等の一連の作業技術 2 定植作業 畝づくり、植え付けのポイント 3 栽培管理作業 土寄せ作業の実践とその効果、根瘤菌の活性化による生育の確保、病害虫の診断と防除 4 収穫、出荷作業 収穫適期の判定、鮮度を保持する収穫法と調整技術 5 エダマメ経営の基本 品種の組み合わせ、在来品種の形質維持技術、土壌管理技術	—	○	—		
教材	JA作成の栽培暦や技術情報						
備考	研修期間中に野菜栽培担当講師が1～2回程度巡回指導をする。						新規

大項目	オリエンテーション	区分	必修	学年	2年生	総時間数 (目安)	3
到達目標	SEADS研修生としての自覚を持つ。また、SEADS研修生として「学んでいく」「地域に入っていく」素地を身に付ける。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	入校式・ガイダンス	—	①入校式 ②ガイダンス ・関係者紹介 ・研修について ・生活について ・研修生としてのマインドセット	—	—	○	
教材	—						
備考	—						

大項目	農業経営	区分	必修	学年	2年生	総時間数 (目安)	45
到達目標	経営者に必要な基礎スキルである、ロジカルシンキングと数字で考える力を身に付け、その後の研修等で自分の考えを整理することができる。加えて、リーダーシップ、マーケティング、プレゼンテーションについて学び、経営者として自分が思考したことを相手に伝え、巻き込むことができる						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	経営技術	①経営スキル	第1回 ロジカルシンキング研修1 (4コマ) 第2回 ロジカルシンキング研修2 (4コマ) 第3回 数字で考える力① (2コマ) 第4回 数字で考える力② (2コマ) 第5回 リーダーシップ① (4コマ) 第6回 リーダーシップ② (2コマ) 第7回 マーケティング① (2コマ) 第8回 マーケティング② (2コマ) 第9回 プレゼンテーション① (2コマ) 第10回 プレゼンテーション② (4コマ) ※第1～4回は1年生と合同	○	—	—	
教材	講義毎に配布資料あり(予定)						
備考	食農夢創 代表 仲野真人 / WITH FARMER 代表 平戸裕馬 新規						

大項目	農業経営	区分	必修	学年	2年生	総時間数 (目安)	60
到達目標	経営初期に課題になる実務的な内容について把握し、適切なひとや情報源を頼りながら、自分でできるようになる。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
経営技術		②経営実務	<ul style="list-style-type: none"> ・人材（採用、労務管理、人事制度） ・営業（アポイント〜クロージング、顧客管理システム） ・総務（ツール導入、規定整備、法人登記） ・財務会計（ツール導入、金融機関対応、TOC/MQ会計） ・法務知財（契約全般、コンプライアンス、知財管理） ・広報（WEBサイト開設、SNS運用、メディア連携） 	○	—	—	
教材	講義毎に配布資料あり（予定）						
備考	講師： ヤマガタデザイン株式会社職員等						新規

大項目	農業経営	区分	必修	学年	2年生	総時間数 (目安)	9
到達目標	経営者としての心構えを身につける。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
経営技術		③講話Ⅰ	百瀬校長・YD代表山中から経営や地域課題等についてのテーマを出し、そのテーマをもとに自身が課題に思っているテーマ等について、ディスカッションを行う。 ※1年生と合同	○	—	—	
教材	講義毎に配布資料あり（予定）						
備考	—						新規

大項目	農業経営	区分	必修	学年	2年生	総時間数 (目安)	9
到達目標	経営者としての心構えを身につける。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
経営技術		④講話Ⅱ	地域の経営者/起業家(農業に限らない)から講演をいただき、経営者として、何を目指し、どのような事業をおこなっているのかを聞き、自身の農業経営について考える。 ※1年生と合同	○	—	—	
教材	講義毎に配布資料あり(予定)						
備考	—						

大項目	農業経営	区分	必修	学年	2年生	総時間数 (目安)	15
到達目標	翌年度以降の月次のキャッシュフローを含めた事業計画を完了させるとともに、「チーム農業」の重要性を知る。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
経営技術		⑤営農計画書	(詳細調整中) 1 チームで農業をする重要性と、農業をする上でのポイント 2 人員計画の策定、採用、労務時間の集計と評価 3 月次キャッシュフロー計画の重要性の理解および、作成	○	—	—	
教材	講義毎に配布資料あり(予定)						
備考	WITH FARMER 代表 平戸裕馬 他						

大項目	農業技術	区分	必修	学年	2年生	総時間数 (目安)	15
到達目標	生殖成長と栄養成長、遺伝子発現、各種植物ホルモン、光合成・呼吸、光・温度に対する反応について学び、作物の生理生態に関する知識がわかる。知識をもとに栽培上の課題について仮説を立てて試行錯誤することができる。						
指導内容	有機農業の理論（応用）	植物生理Ⅱ	1 植物の成長と分化：栄養成長と生殖成長、細胞の等分裂と不等分裂、分化全能性とiPS細胞 2 植物の遺伝子：核ゲノムと葉緑体ゲノム、遺伝子発現、エピジェネティクス 3 植物ホルモン①：ジベレリン、オーキシシン、サイトカイニン 4 植物ホルモン②：エチレン、アブシジン酸、ブラシノステロイド 5 植物の代謝系①：光合成；光化学反応、炭素同化 6 植物の代謝系②：呼吸；解糖系、クエン酸回路、電子伝達系 7 植物の代謝系③：窒素固定と窒素同化、アミノ酸生成 8 植物の環境応答①：光に対する分子、個体、個体群レベルでの反応 9 植物の環境応答②：温度に対する分子、個体、個体群レベルでの反応 10 作物の生理生態①：生産構造、最終収量一定則と3/2乗則 11 作物の生理生態②：発芽と花成 12 作物の生理生態③：白い米；うるちもち、冷害と高温熱障害	形態			
				講義	実習	その他	
教材	講義毎に配布資料あり（予定）						
備考	講師：新潟食料農業大学教授 吉岡俊人						

大項目	農業技術	区分	必修	学年	2年生	総時間数 (目安)	22.5
到達目標	土作りについて科学的にとらえ、農業生産に必要な知識がわかる。知識をもとに栽培上の課題について仮説を立てて試行錯誤することができる。						
指導内容	有機農業の理論（応用）	土壌肥料Ⅱ	1 農業の機能と有機農業の意義 2 土壌とは何か？ 世界と日本の多様な土壌と特徴 3 水田土壌の特有な性質と高い生産性をもつ理由 4 土壌の重要な構成成分と役割：土壌鉱物、土壌有機物 5 土壌の物理的性質 6 土壌の化学的性質 7 土壌中の生物の種類と働き 8 土壌改良資材の種類と使用法 9 有機肥料の性質と有機肥料使用による高品質野菜生産 10 気象変動に左右されない作物のための水田の土づくり 11 連作障害を防ぐ畑土壌の管理法—堆肥の役割、緑肥、pH管理 (1) 連作障害を防ぐ畑土壌の管理法—堆肥、緑肥、pH管理 (2) 12 野菜栽培の連作障害の効果と対策 13 「有機農業をめぐる事情 (R2年)」または、「有機農業を25% (2050年までに) にする」として「緑の食料システム戦略」の推進 会：農林水産省発表資料を読み解いて考える（予定必須） 14 「有機農業の強さマニファレスト」を読み解いて考える（予定必須） 15 環境保全に配慮した農業生産に関する技術の導入実態に関する意識・意向調査 (H30年)、有機食品等の消費状況に関する意向調査 (R1年)：農林水産省発表資料を読み解いて考える（予定必須） 16 有機農業の強さマニファレスト—実践現場における事例と研究成果：農林水産省発表資料を読み解いて考える（予定必須）	形態			
				講義	実習	その他	
教材	講義毎に配布資料あり（予定）						
備考	講師：新潟食料農業大学教授 伊藤豊彰						

大項目	農業技術	区分	必修	学年	2年生	総時間数 (目安)	7.5
到達目標	有機農業で重要になる雑草対策について、知識を得るとともに知識を基に適切な管理ができるようになる。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	有機農業の理論（応用）	作物保護Ⅱ	1 雑草の多面性 2 雑草の種類 3 雑草の生態 4 雑草の管理	○	—	—	
教材	講義毎に配布資料あり（予定）						
備考	講師：新潟食料農業大学教授 吉岡俊人						

大項目	農業技術	区分	必修	学年	2年生	総時間数 (目安)	6
到達目標	水稲栽培について、気象、土壌等の環境条件から技術のポイントを理解する。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	栽培管理	稲作	1 植物生理（植物ホルモン、植物ホルモンの利用） 2 気象（イネと日長、日長と栽培） 3 気象（高温障害） 4 気象（低温障害、遅延型冷害）	○	—	—	
教材	作物学の基礎Ⅰ 食用作物						
備考	講師：庄内農業高校非常勤講師 佐藤一広						

大項目	農業技術	区分	必修	学年	2年生	総時間数 (目安)	18
到達目標	1.野菜の最新栽培技術を理解する 2.研修生各自が取り組む野菜について ①栽培技術を習得する ②栽培・経営計画作成能力をつける。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	栽培管理	野菜	1 野菜の養液栽培の基本技術 <ul style="list-style-type: none"> ・水耕栽培の基本技術と栽培法 ・養液土耕栽培法 2 施設栽培の自動化技術 <ul style="list-style-type: none"> ・温度管理の自動化 ・かん水の自動化 ・炭酸ガス施用技術 ・光環境制御法 3 選択品目の栽培技術 <ul style="list-style-type: none"> ・生育診断法 ・品質向上対策 ・病害虫対策 4 選択品目の栽培・経営計画の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・栽培計画書作成 ・経営計画書の作成 	○	○	○	
教材	テキスト						
備考	3の選択品目の栽培技術は座学の他に研修生の研修農家或いは実践ほ場を訪問し指導する /講師： 農業技術アドバイザー 栗田公司 —						

大項目	農業技術	区分	必修	学年	2年生	総時間数 (目安)	3
到達目標	果樹栽培について、庄名地域を代表する樹種の技術のポイントを現地事例調査とともに学ぶ。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	栽培管理	果樹	1 柿 2 ぶどう 3 なし(西洋、日本) 4 さくらんぼ	○	—	—	
教材	果樹栽培の基礎						
備考	講師： JA庄内たがわ園芸特産課指導員 佐藤康一 —						

大項目	農業機械講習	区分	必修	学年	2年生	総時間数 (目安)	3
到達目標	主要機械について、深掘り学習（レベル：「精度良くできる」）						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	メンテナンス	主要機械	JA、メーカー等から協力を頂き、メンテナンスについて深掘り学習。	—	○	—	
教材	—						
備考	講師：JA／メーカー						—

大項目	視察研修	区分	必修	学年	2年生	総時間数 (目安)	45
到達目標	県内の先進事例地や品目別の栽培方法、研究機関等の視察により、目指す就農ビジョンの具体化に繋げる。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	農業経営体 野菜 果樹 水稲 食品加工 その他	—	4月 温湯消毒 6月 庄内産知研究室・園芸農家 7月 選果場（枝豆・メロン）、温海地域、 月山高原 8月 稲作農家 9月 水田農業研究所 10月 園芸農業研究所 ※1年生と合同	—	○	—	
教材	—						
備考	—						強化

大項目	視察研修	区分	必修	学年	2年生	総時間数 (目安)	9
到達目標	県内の先進事例地や品目別の栽培方法、研究機関等の視察により、目指す就農ビジョンの具体化に繋げる。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	その他	—	希望を踏まえたオーダーメイド型視察研修 (先進事例地等)	—	○	—	
教材	—						
備考	— 強化						

大項目	就農・定住支援	区分	必修	学年	2年生	総時間数 (目安)	3
到達目標	認定農業者制度、農業法人制度や就農支援制度について学び、就農計画を作成する。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	農地・営農資金・各種補助制度	—	1 就農支援制度の概要	○	—	○	
教材	講義毎に配布資料あり(予定)						
備考	講師： 鶴岡市農政課等 —						

大項目	就農・定住支援	区分	必修	学年	2年生	総時間数 (目安)	18
到達目標	就農計画の作成に向けて、タイムリーに情報交換を行い逐次に計画のブラッシュアップを図る。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	就農相談	—	[1年生] [2年生] 共通 1 個別面談	○	—	○	
教材	—						
備考	— 強化						

大項目	就農・定住支援	区分	必修	学年	2年生	総時間数 (目安)	15
到達目標	地域農業の担い手・リーダー・農業士・JA生産組織等との交流を通じて、地域社会生活に必要な知識、情報等を習得するとともに、農業経営者としての資質向上を図る。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	農業者交流	—	[1年生] [2年生] 共通 1 先進農業経営事例研究 2 地域農業経営事例研究	○	—	○	
教材	講義毎に配布資料あり(予定)						
備考	— 強化						

大項目	就農・定住支援	区分	必修	学年	2年生	総時間数 (目安)	9
到達目標	うつ病の理解や、ストレスとの付き合い方などを学び、元気なところ・からだで過ごすためにできることを考える。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	ところとからだの健康相談	—	[1年生] [2年生] 共通 1 うつ病の理解とところのサポーターの役割について 2 「ところとからだの健康相談」(個別)	○	—	○	
教材	講義毎に配布資料あり(予定)						
備考	講師： 鶴岡市健康課						強化

大項目	農業経営実践講座	区分	必修	学年	2年生	総時間数 (目安)	3
到達目標	新規就農者の農業経営の実践力を身につけるため、確定申告(青色)について理解する。						
指導内容	中項目	小項目	詳細	形態			
				講義	実習	その他	
	複式簿記Ⅱ	—	1 複式簿記の復習・青色申告① 2 青色申告②・消費税について	○	—	—	
教材	令和3年度版 よくわかる農家の青色申告(全国農業会議所)						
備考	庄内総合支庁農業技術普及課主催						新規

大項目	実習	区 分	必修	学 年	2年生	総時間数 (目安)	—
到達目標	実践農家において、就農時の作目の栽培方法や経営について、実践技術を習得する。 1 栽培技術、2 作業技術、3 経営能力						
指導内容	中項目	小項目	詳 細	形 態			
				講 義	実 習	そ の 他	
	農家実習	オーダーメイド型実習	希望研修品目に応じたオーダーメイド型実習 (R3の例) さつまいも、パプリカ、フチヴェール、ミニ トマト、ヘビーリーフ	—	○	—	
教 材	JA作成の栽培暦や技術情報						
備 考	研修期間中にSEADSスタッフが1～2回程度巡回指導をする。						新規